

初診時に血液型を確認するのはなぜ??

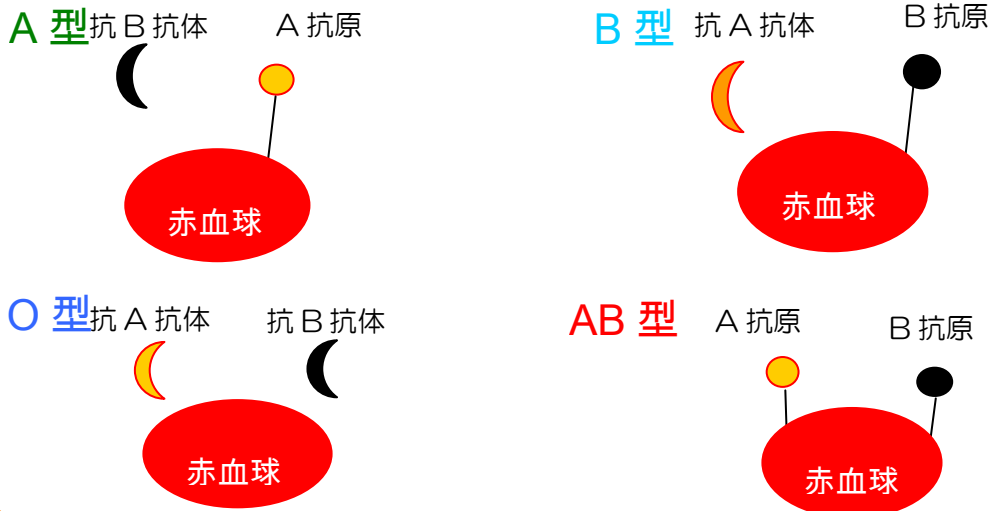
初診時の問診の中で血液型とRhを確認すると、「Rhはわかりません。」「Rhって何?」という言葉が聞かれます。ご自身の血液型は知っていても、Rhは知らないという方が多いのではないのでしょうか? そもそもRhとは何なのか、なぜ初診時に確認しているのかを今回ご紹介します!

まずは…
血液型とは??

血液内にある血球の持つ抗原の違いをもとに決めた血液の分類のことです。抗原は赤血球・白血球・血小板・血漿などに数百種類が存在し、その組み合わせによって決まる血液型は数兆通り以上という膨大な数になります。一般に血液型といえば赤血球の血液型を指し、赤血球膜上の抗原の種類によって分類されています。(ABO式、Rh式)

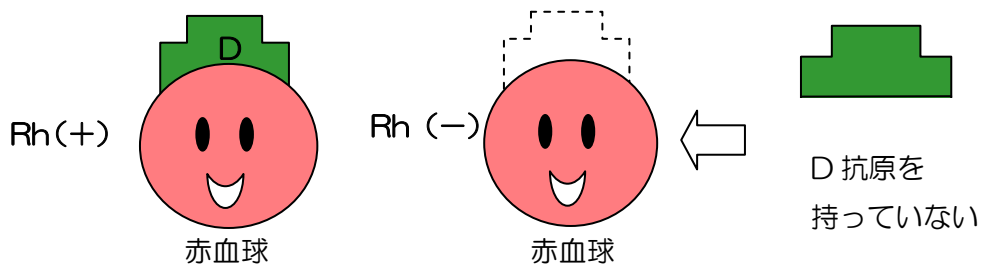
ABO式血液型は知っている方が多いと思います。

赤血球膜上に有する抗原によって、A型・B型・O型・AB型と表現されます。そして各々の血清中には抗体が存在します。



では…
Rh式血液型
とは?

存在する抗原C,c,D,E,eの5つの因子によって識別される血液型です。最も抗原性が高いのはD抗原で、一般にRh式血液型の陽性・陰性はD抗原の有無を指しています。



日本人のRh(-)は0.5%程度で、白人では15%前後です。

なぜ初診時に
血液型を
確認してるの？

血液型不適合妊娠というものがあります。

これは母体に存在しない血液型抗原が胎児に存在する場合をいいます。ABO 式血液型不適合妊娠も存在しますが、非常に症状が弱いことから、あまり問題にならないことが多いです。

それに比べると **Rh 式血液型不適合妊娠は胎児に様々な問題を及ぼすことが有ります。**

Rh (－) の女性が初回の妊娠で Rh (＋) の胎児をもった場合、2 回目以降の妊娠の胎児が Rh (＋) であると、Rh 式血液型不適合妊娠が起こることがあります。

つまり、2 回目以降の Rh (＋) 児妊娠により症状が見られることが多いのです。

なぜかという、初回の妊娠の場合には分娩になるまで胎児の血液が母体の血液中に多量に入ることはいないため、Rh 感作 (D 抗原に対する抗体が作られること) が起こりにくくなっています。そのため、胎児や新生児に問題が起こることはまずありません。しかし、流産や分娩時に Rh 感作が起こります。

この D 抗原に対する抗体が胎盤を通じ、胎児へ移行し、抗原抗体反応を起こすことによって、胎児の赤血球が破壊され (溶血といえます)、胎児 (新生児) に貧血や黄疸などの症状が起こります。

このために Rh 式血液型を知っておくことは大切と言えます。

どうやって
調べるの？

血液検査 (採血) で調べることができます。

Rh (－) と
わかった時
どうしたら
良いの？

予防策としては母体が未感作の場合、初回妊娠・分娩の際に感作される可能性があるため、児の血液型 (Rh 型) を確認して、児が Rh (＋) であった場合、分娩後 72 時間以内に抗 D ヒト免疫グロブリンを注射します。児も Rh (－) であった場合は、注射の必要ありません。この注射により、D 抗原に対する抗体の産生を防止し、次回妊娠時胎児への影響を防ぐことができます。

また、妊娠 7 週以降の児の生存が確認できた自然流産や人工流産の後、異所性妊娠 (子宮外妊娠) 後、妊娠中の検査・処置 (羊水検査など) 後、妊娠中の腹部打撲後には感作予防のため抗 D 免疫グロブリンを注射します。

もし感作を受けたことが分かった場合には妊娠時胎児の貧血などの状態に注意し、必要時治療を行っていきます。

妊娠した場合、妊婦健診の初期検査で血液型 Rh も調べますが、その週数になる前に流産することもあるため、当院では初診時に調べる事を勧めています。検査はいつの時期でもすることができます。ご希望がありましたら、診察室にて医師にお伝え下さい。
(今回の担当：看護部 堀口・川上・中武)

(参考文献)

病気が見える vol.10 産科 / 病気が見える vol.5 血液
産婦人科診療ガイドライン 産科編 2011
日本医科大学多摩永山病院女性診療科・産科医局ホームページ
メルクマニュアル医学百科家庭版
NTT 東日本 札幌病院ホームページ 輸血センター (血液型の仕組み)
都立大塚病院 検査科ホームページ 血液型・輸血の検査のお話

